	自 主 防災会	事業所	ボランティア 団体
配布数	22団体	50団体	21団体
回収数	19団体	38団体	20団体
回収率	86%	76%	95%
内容	・現状と今後の意向 ・地域や他の団体との連携について		

郵送による配布・回収 調査時期 平成18年8月25日~9月15日

用することを目的にアンケー を実施しました。 する取組状況や意向などを把握 体の協力を得て、 主防災会、 調査状況 事業所、

今後の連携方法の検討材料として活 推進事業の一環として、 各種団体を対象とし 久比 町地域防災ネットワーク活 アンケー ト結果 各団体の防災に関 ボランティア団 町内の自 た ト調査 ΪŲ

援

王防災会は九割近くに上っ

て

11

ま

今後実施したい

住 ニュース

防災交通課

(内208)

発生時に予想され 自主防災会が 護 調査結果【自主防災会編】前号から 0 続き 者援護者対策」を挙げている自 災害発生時の問題として、「 抱 えて る問 61 問題点は る災害

(複数回答) 障害者、高齢者、妊婦、乳幼児など災害時 要援護者の支援ができるか 89.5% 地域住民の安否の確認ができるか 73.7% 役場、消防署など防災機関との情報交換や 地域住民への情報の伝達ができるが 避難所の管理運営ができるか 火災の発生防止や初期消火ができるか 36.8% 地域住民が安全に避難するための 26.3% 誘導ができるか 救援物資(食事など)の分配ができるか 26.3% 簡単な丁具を使用しての救出や 負傷者の救援ができるか (回答数=19) 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100%

二 半数を超え、 す。 のネットワー 練を通じた住民の意識の を実施したいとする自主防災会が かの防災関係団体 夜間訓練」、「避難所運営訓練 自主防災会の防災訓練は、 今後は、「シナリオのない訓練 会場型訓練」 一回の頻度で行われ、 クづくりが求められ 訓練方法の指導や が行われていま 事業所などと)高揚、 ほとん 年

ほ 訓

(回答数=19)

実施する予定はない

目 ネッ 挙げられていて、 必要です。 れらの問題を解決していくことが には機能しないといった問題 [主防災会の防災訓 施設やボランティ トワークを構築しながら、 自主防災組織は平日の昼 今後は医療・ アなどとの 練状況は に点も 蕳 福 時

無回答 5.3% 無回答 10.5% 250人以上 5.3% 年3回 5.3% 150~249人 5.3% 次号に続く 訓練の頻度と 参加者数 100~149人15.8% , (回答数=19) (回答数=19) 会場型訓練 5.3% 5.3% 10.5% シナリオのない訓練 夜間訓練 図上訓練 避難所運営訓練 20 40 100% 30 こ1年、新しく取り入れている 以前から実施している

無回答

分级開演会開催

講演をする安藤教授

12月9日、エスペランス丸山で「阿久比 町防災講演会」を開催しました。

名古屋大学大学院安藤雅孝教授を講師に 迎え、「東海・東南海・南海地震の被害予測 と対策」と題して地震防災の講演会と、 号からこのページで掲載している防災アン ケート結果の概要報告を阿久比町地域防災 ネットワーク活動推進会議岸野靖彦会長が 行いました。

この事業は阿久比町地域防災ネットワー ク活動推進会議の主催で愛知県みんなの防 災ネットワーク構築モデル事業の一環とし て実施しました。